

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立栗島中学校 校長 豊崎 努

1 学校教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、規範意識と豊かな個性、創造力をもって社会に貢献しようとする精神を培い、心身ともに健やかで夢や希望を実現する自立した人を育てる教育を推進する。

・進んで学ぶ生徒 ・思いやりのある生徒 ・根気強くやり抜く生徒

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①自ら学び解決していく意欲を育てる学習センターとしての機能を果たす。
- ②学校における資料センター、情報センターとしての機能を果たす。
- ③調べ学習を通して課題発見・課題解決能力を育成する。
- ④読書を通して、異文化の受容と共生能力、言葉の理解力とコミュニケーションの能力を育成する。
- ⑤生徒の心のオアシス（居場所）としての機能を果たす。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12,427冊（蔵書基準冊数 9,600冊）／蔵書率 130%（前年度末 153%）									
	② 新規購入図書 574冊／廃棄図書 460冊／増減冊数 114冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.6%	3.4%	9.1%	10.5%	11.4%	5.2%	2.9%	12.3%	4.6%	38.2%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：13:05～17:15（前年度からの変更 なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 3.2冊（前年度：1.8冊）									
	③ 学校図書館利用率 80700%（前年度：58700%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数冊 12,725（蔵書基準冊数 9,600冊）／蔵書率 133%									
	② 新規購入図書 568冊／廃棄図書 270冊／増減冊数 298冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.6%	3.4%	9.2%	10.6%	11.4%	5.2%	2.6%	12.9%	4.9%	37.2%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：11:30～16:30（前年度からの変更 あり）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 3.4冊（前年度末：3.2冊）									
	③ 学校図書館利用率 460%（前年度末：350%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。									
	② 学校図書を活用した探究活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。									
	③ 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。									

今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。	① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率60%以上 ③ 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100%
② 図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、自ら設定した課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。	
③ 学校図書館のきまりや仕組みを知る。	

目標達成状況

- ① 1人当たりの貸し出し冊数は、3.7冊となり、前年よりも下回る結果となった。（達成できず）
- ② 学習コンクール参加率が不登校生徒をのぞいて100%となった。（達成）
- ③ 図書館支援員と連携して、1年生全員にオリエンテーションを行った。（達成）

第2学年	① 多くの分類にわたる読み物を読もうとする意欲を育てる。 ② 課題の種類によって学校図書やICT機器を使い分ける活動を通して、情報活用能力の育成を図る。 ③ 学校図書をよりよくするための思考を通じて、規範意識の育成を図る。
今年度の成果目標 ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。 ② 自ら設定した課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進めることができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	達成基準 ① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率80%以上 ③ 読書や探究活動の授業を年10回以上実施するクラスの割合100%
目標達成状況	
① 前年度より12%ほど下回ってしまった。(達成できず) ② 学習コンクール参加率が不登校生徒をのぞいて100%となった。(達成) ③ 探究活動での実施を10回以上行うことができた。(達成)	
第3学年	① 読書を通して考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書とICT機器を併用した探究活動を通して、言語能力の育成を図る。 ③ 学校図書をよりよくするための活動を通して、主権者としての素養を育成する。
今年度の成果目標 ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書や図書を活用した活動を行うことができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、よりより仕組みについて考えたり、話し合ったりすることができる。	達成基準 ① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率75%以上 ③ 読書や探究活動の授業を年10回以上実施するクラスの割合100%
目標達成状況	
① 前年度より10パーセント下回ってしまった。(達成できず) ② 学習コンクールへの参加を希望者のみとしたため、提出数が少なかった。(達成できず) ③ 探究活動での実施を10回以上行うことができた。(達成)	
5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 蔵書数の少ない分類の図書の蔵書を増やす。 ② 不用な図書の廃棄作業を行う。 ③ 背ラベル3桁への張り替え作業を行う。 ④ 蔵書のフィルムコーティングを行う。	①計画的に進んでいる。継続して取り組んでいく。 ②今年度270冊の廃棄を行った。 ③図書のフィルムコーティングも行っているため、1,450冊となった。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 新1年生へのオリエンテーションを実施する。 ② 図書委員会を通じて、生徒との連携・協働活動を実施する。	①②図書館支援員と協力して実施した。
【その他】 ① 生徒が「あだち電子図書館」を利用するよう、活動する。	①生徒に周知を行い、引き続き利用を促進していく。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- 図書館支援員の働きにより、環境が大幅に整備され、生徒が過ごしやすい環境となっている。
- 配慮を要する生徒の居場所として機能を果たすことで、学校が安心して過ごす場所となっている。
学校図書館が役割を担っていることは非常にありがたいことであり、学校の強みとして今後も活用を進めていく。
- 引き続き蔵書を増やして、生徒が多くの本に触れる機会をつくっていく。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- 令和5年度は教職員と協力しながら、読書推進を図り、図書館整備など円滑な図書館業務を進めた。
- 毎年増加がみられているが、まだ図書館の図書を利用する生徒が少ないため、図書委員会と協力して、ポスターやPOPを作成したり、図書強化週間などを設定したりするなどして利用を促してほしい。
- 読書活動を推進していくために、教科と協力したり、館内の展示や掲示を増やしたり、活動を工夫したりすることで、生徒がより利用しやすい図書館環境を整備していただきたい。